

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イツモネ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年齢層の近い児童との関わり	感性や感覚を大事にしながら、やってみたい、作ってみたい、という気持ちを伸ばせるように心がけている。年齢が近い子同士、競い合うことで揉めることも多いが、お互いに話し合い納得して解決できるように促すことで心の成長に繋がっていけるようにしている。	他の年代の子との関りも増やしていけるように、休校日は地域のイベントや活動に参加する機会を増やし幅広い年齢の子や地域の方との関わりを持てるようにしていきたい。
2	・地域資源の活用	近くにある公園や図書館などを利用したり、地域で開かれるイベントに関することで資源を活用している。	地域の方との交流をする機会は多くない為、イベントや地域内の交流会等にも積極的に参加していきたい。
3	・芝生のある園庭	地面が芝生の為、晴れた日はピクニックを楽しんだり、冬はお子さんと一緒に雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと活用しながら支援を行っている。	夏祭りやプールなどの季節のイベントで使用するがあるので、タープやスプリンクラー等の熱中症対策についても力を入れながら快適に過ごせるように環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・段差をなくしたり、手すりを取り付けたりなどのバリアフリー化	建物がコンクリート製かつ賃貸住宅のためバリアフリーに向けた改修ができず歩行の困難なお子様の利用が難しい。	必要に応じて工事不要のスロープや手すりなどの設置を検討する。
2	・一人一人に合わせた支援プログラムの提供	一人一人の特性やスキルが幅広いために集団での活動となった際に個別に合わせて活動プログラムを設定することが難しい。	日々の様子や課題についてスタッフ間で共有することを徹底しつつ、スタッフ皆で支援計画を立てることに携わっていけるような形を整えていく。また出前講座、研修の機会を設けることでスタッフのスキルアップを図り計画に沿った支援を実行するための支援力向上に繋げていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 イツモネ 放課後等デイサービス

公表日 令和7年 1月 27日

利用児童数

17

回収数

15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	3				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	2	5		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	2	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	2	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	2		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	5	4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	2	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	1	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1		2	・いつも子どもだけでなく親まで体調を気にしてくださり、とてもありがたいです。	今後も満足していただけるよう精一杯支援に努めていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
イツモネ (放課後等デイサービス)		令和7年 1月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4		・狭いと感じることがある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0		・もう少し必要と感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・おもちゃ棚の写真など見える化しているが、中身が変わっているので定期的にチェックし貼り替えたいところ。	・リノベーションの建物なのでバリアフリー化はされていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		・個別の部屋（クールダウン用）がない為パーテーション等の仕切りがあるといい。 ・利用人数によっては難しいか。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		・やってはいるが不十分である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・スタッフから希望があれば積極的に研修への参加を行っている。	・足りていないように感じる。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	4		・今後取り組んでいく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		・わからない情報もあり、知る時間が欲しい。 ・周知、共有する機会をもう少し持ちたいと感じる。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4		・システム導入を法人に検討いただきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・みらいハッケンプロジェクトを利用して様々な活動を企画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3		・シフト時間がばらばらなことで、確認時間が不確定で分からないときもある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		・打合せはないが振り返る時間はあると感じる ・時間的に難しいと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		・偶然公園で出会った子と遊ぶ機会はあるが、事業所として自発的という機会は少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・エビペンの所持をする児童に対してスタッフが対応できるように研修を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・ヒヤリハットがあった際には素早く作成し、スタッフ全員に回覧して情報を共有している。	・全スタッフが報告しやすい形にしているところ。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		